



# 碧南ロータリークラブ週報

第2443回例会 平成21年1月28日(水)

- 会長 平岩統一郎 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 木村 徳雄 2008-2009年度 国際ロータリーのテーマ
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100  
ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 長田和徳・岡本明弘・角谷 修・黒田泰弘



## ● 齊 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館



平岩統一郎会長

## 会 長 挨拶

早いもので、今週で1月も終わります。茶道の関係ですが、1月はいくつかの初釜式に招かれます。

特に京都の本部の方に行きますと、手の入ったお庭、新しい畳、襖、障子に囲まれた、飾り気の無い静寂の中に侘び寂びの世界が広がっています。そこでお茶を一服いただく、たったそれだけの事なのですが、日本人が日本の良さを体験できる非常に大切な一瞬と申しますか、空間が御座います。

現在の世の中は、不況の真っ只中で大変な時ですけど、作家の五木寛之さんがこう言っておられます。「今、日本は、漠然とした不安感に覆われている。もはや右肩上がりの経済成長は望めず、失業者は増加、自殺者も後を絶たない。このような時代を我々はどのように生きればよいか。」そこで著者は、「まず覚悟をしなければならない。現実を直視する覚悟、国にも人にも頼らない覚悟、覚悟する事で暗夜の中にも一筋の光が見えてくる。」と言うような事を言っておられます。

一服のお茶をいただくと同時に、これから覚悟を決めて進んで行かなければならないと、瞬間感じたところで御座います。お茶も作法などありますが、飲むと奥深いものを感じられますので、皆さんも是非お茶を楽しんで頂きたいと思えます。

## 幹 事 報 告

- ・例会変更等は、お手元の資料の通りでございます。
- ・彫刻家の神戸峰男先生より、日展の招待券を沢山戴きました。枚数が50枚御座いますが、先着順で何枚でも結構で御座います。2月15日までで御座いますので、事務局の方へお申し出頂ければお渡し出来ると思えます。



長田豊治幹事

## 委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

総会員数80名(内出席免除者15名の内出席者11名)出席者64名	
出席対象者 64/80名	出席率 81.01%
欠席者16名(病欠者1名)	前々回修正出席率 91.89%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

犬塚 敦統君 本日の講師 杉田氏を紹介します。

伊藤 正幸君 3月12日にシングルコンペを開催させていただきます。お世話になりますが、よろしく願い申し上げます。

竹中 誠君 長女が結婚しました。

### 〈親睦委員会〉

本年度家族会は50周年の節目と言う事で、記念に残るような企画を考えてみました。

と き 4月12日(日) 集合 7時30分 碧南商工会議所

ところ 信州南木曾温泉「ホテル木曾路」

詳細は別紙ご案内の通りです。

バス3台でのご移動となりますが、都合の御座います方は、直接現地集合、解散も可能です。

登録料のご負担については、事業を成立させるためにご配慮頂きたく存じます。

小さいお子様、お孫様にも楽しんで頂けるような企画を用意しておりますので、たくさんご出席頂ければと思っています。皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 卓 話

### 「日本と中国の現状の一部分を長野の体験より」

若宮会講塾 塾頭 杉田謙一氏

ご紹介頂きました杉田と申します。現在、学習塾を経営しております。

本日は宜しく願い致します。本日は、お配りさせて頂きました草莽通信の第2号、6月号の内容を中心にお話させていただきます。それと、「これで日本はやっていけるのか」と言う冊子を作っていました。

(\*卓話の詳細内容はこれらの冊子をご参照下さい。以下要約文)

- 昨年の北京オリンピックに於きまして中国はオリンピックをやる前提として、人権問題はその時までには必ず解決するという国際的な約束の中で行われると決まったわけですが、どれだけ待ってもその事についての解答は得られませんでした。
- チベット問題に対し、4月19日に名古屋でデモを行いました。6月と7月19日にも行いました。
- 長野での聖火リレーには協力できないと善光寺の僧侶の皆さんが立ち上がり、出発点が変わった。人権問題について真剣に取り組んで下さり、本当に有難かった。これが東京にも広がり、市民が動いた名古屋のデモが大きな影響を与えてくれた。
- チベットの人権を守るため、名古屋駅に数人で集まったが、大量のバスで大勢の中国人の人も全国から動員されて来ていた。我々と同じく聖火リレーの応援に入るためだった。長野市内に到着し、人権問題についての抗議をしようとした所、既に中国の人が物凄い人数で溢れていました。道路交通法無視で赤旗を掲げ走っている光景に驚きました。チベットの国旗を持っているだけで危害を加えられ、けが人も多数出て、私も危うい目に遭いました。警察は中国人を一切逮捕しないという指令が出ていました。日本人は危険行為があれば捕まえる。こういう状態が長野の現実だったのです。本当に日本はこれで良いのでしょうか。
- 今、政府は1千万人の移民を受け入れようと言っています。そのような時代が訪れますと選挙権や国籍法の改正などで、色々な問題が心配されます。日本人としての文化をしっかりと守って行く事が大切である。
- 日本映画である事と、政治的・宗教的な問題であってはならないとの条件の上、文化庁がお金を出して製作された映画「靖国」は、製作者は日本人の名で申請した中国人の方で、助監督以外は全て中国の人がスタッフとして製作されました。



様々な問題、課題が多い時代であります。我々企業人としてもやるべきことをしっかりとやって、この国のために尽くして行きたいと思っております。今日は有難う御座いました。

**次回例会案内 平成21年2月11日（水）**

**法定休日のため休会**

**次々回例会案内 平成21年2月18日（水）**

**卓話「碧南の教育について」**

**碧南市教育長 小笠原幸男氏**